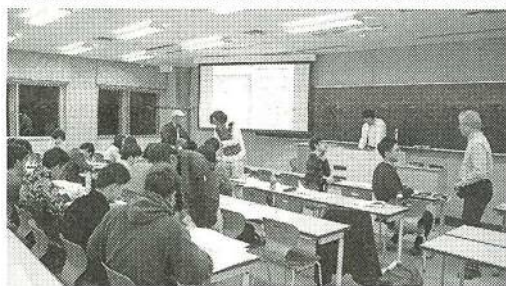


東洋大で足場設計講義

現場のプロが技術伝授

東洋大学理工学部建築学科では10月26日、同大の川越キャンパスにおいて「仮設足場設計」をテーマにした授業が行われた。写真。



これは、「建築プロジェクトマネジメント演習」(秋山哲一教授)の一環として実施されたもので、授業を選んでいる3、4年生が受講した。

今回の取り組みは、「学生たちは、住宅や建物の設計は行つが、仮設についての設計をやる機会がない」(秋山教授)ということから、秋山教授がボラスグループに協力を依頼。同グループの住宅建設に際して足場工事を請け負

っているトキワ(茨城県つくば市、小野光孝社長)の嵐田寿一常務らがゲスト講師として招かれた。

授業では、足場部材の基本知識をはじめ、足場を設計する際の注意点について嵐田常務から講義を受けた。学生たちは、そのあと実際の住宅図面に足場の設置計画を記入。学生は、建物完成後は撤去される仮設足場が「安全と作業の効率性」を考えて設計されていることを実感していた。

嵐田常務は「私たちは何が最適かを考えて足場設計をしている。今回の授業の経験を今後に生かしてほしい」と呼び掛けた。